

【刊夕】日九十月二十



定部金一錢五錢 一月十五錢 五部五錢  
 廣告料五部三錢 字三十一行 一十五錢  
 發行部 人輯印人輯編行發  
 治文崎川 人刷印人輯編行發  
 五三町橋長町平郡城石縣島福  
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發  
 社會式株刷印日每警常 所刷印

### 藝術とは何ぞや？(寄書)

—文學は如何に人生に役立つか—

村 瀨 新 吉

善といつたところで、それは畢竟私達が哲學した真が意志的に行為の上に現はれることに外ならないのでありまして、眞なる義しい行為が、畢竟善といふことになるのであります。だから眞美善即ち哲學藝術宗教といふものは三つのものではなく、結局ある一つの物の内に織り込まれるべきせいしつのものであり、私達は常に哲學や藝術や宗教や經驗してゐるのたともいへると思ひます。

四

そこで今申しました藝術上の美の問題(美の表現が藝術であります)であります。がこゝでいふ美とは、前述の如く美しいといふ意味でありまして、即ち内容意義の意味であつて、只表面に現はされた美——即ち普通にいふ綺麗などかといふ意味ではないのであります。アントン・テエホフは言つて居ります。

「藝術的の文學は、それが人生の在るがままを描く限りに於て藝術である、藝術家に對して強制権を有つものは「問題を正確に述べること」だけである。「問題を解決すること」即ちその價値を決定するのは讀者の任務である、藝術家が會つてクラテスが認め、ポルテールが認め、やうに此の世の何事も分らないことを認め、たのは「時」である、衆俗は何事でも知り、また理解してゐると信じてゐる」とけたし要を得た言葉だと思ひます。

藝術家の任務は只在るがまゝの人生を、社會を眞に在るがまゝに描くだけなので、藝術家は問題を出したるのには讀者の任務なのです。自分の理想を書いたりするのは宗教家や思想家のすることでありまして、藝術家のすることではありません。従つて藝術家としての自分とは同一の人間であつても思想家としての表現の方法

は自と異つて來るわけでありませぬ。

藝術的の文學は、それが人生の在るがまゝを描く限りに於て藝術でありませぬ、とこゝで此の人生といふところは、その現實は、それは醜いちりと芥の掃で一杯でありまして鼻持ちのならないところであるのであります。

常盤新報

童 謠 詩

雪 蟲 島田忠夫

赤子の  
 なくこえ  
 かなしい日ぐれ

雪 蟲  
 ひろがれ空に

遊び  
 おくれて  
 泣きたくなつた。

相馬中村袋町  
 旅館  
 御料理 西山  
 電話二〇番

度量衡、計量器、吸入  
 用酸素、酸素吸入器  
 關内藥局  
 電話四〇番

命の御用時計  
 は今評判の山崎に  
 深刻な不景氣の折柄、買入人の身  
 になつて良い品特價にて提供致し  
 ます。  
 修繕物は特に丁寧迅速破  
 額を以て御用に應じます  
 親切な店 堅い店  
 山崎時計専門店  
 (五丁目新川町通り  
 (吉田屋染物店前))

花環  
 蓮華  
 造花  
 町川新平橋  
 屋本橋  
 番三六一話電

磐城土産  
 鯉節と  
 鹽から  
 配達敏速  
 魚問屋  
 最優最  
 平賀目  
 大代理  
 日理盛  
 本店盛  
 命生榮  
 番三二

寫る！  
 素的によく寫る  
 益々評判なる  
 タツタ一圓の  
 富士カメラ  
 クリスマルのプレゼントに！  
 お正月のお楽しみ！  
 ゼビ……いづみやの  
 富士カメラ

第一回懸賞寫眞募集  
 (應募規定)  
 一、富士カメラ使用の寫眞に限る事  
 一、寫眞は風景人物其他隨意の事  
 一、寫眞は必ず台紙へ貼付け裏面へ住所氏名明記し原板添付の事  
 一、一切は昭和六年一月七日  
 一、應募寫眞受付はいづみや玩具店  
 一、發表は一月十日いづみや玩具店々頭及び常磐毎日新聞紙上へ掲載  
 審査は主催者に一任する

賞品  
 一等 家庭用殿文タイプライター  
 二等 富士カメラ携帯用サツク  
 三等 富士寫眞ブック  
 ◆選外全部臺紙一枚ツ、進呈  
 尙不明の點は主催店へ御問合せ下さい

主催 いづみや玩具店  
 後援 常磐毎日新聞社

### 新年文藝懸賞募集

初春の紙を飾る  
締切 十二月廿日  
用紙 官製はがき  
宛名 本社文藝部

和歌 『山』 一人各三首限 高久晚霞氏選

俳句 『春著』 『若菜』 一人各三句限 渡邊何鳴氏選

童謡 『正月』 一人各二篇 川崎小鳥氏選

詩 隨意 一人各二篇 片寄歌二氏選

短歌 『光』 一人各五首限 白木英尾氏選

●投書には『新年文藝』と種目とを必ず明記すること

●入賞者を一名 二名 三名に分ち各賞品を呈す

### 工費二萬圓を以つて

### 失業救済工事

### 平土木監督所管内

### 一月十日頃に着手

既報政府の施政方針である失業救済事業の平土木監督所における工事場所は  
一、勿來、三坂線石城郡荷路夫村地内縣道路の修繕工事  
二、平、小野新線石城郡小川村高崎地内縣道路改修  
三、平、小名濱線同鹿島

### 湯本水道工事

石城郡湯本町では既報の如く過般工事費十六萬圓で水道施設を計畫目下起債認増額を陳情

### 今冬より大々的に

### 兎の飼育を宣傳

副業による利益の合理化  
パンフレット配附

石城郡農會では數年來まうかる副業として養兎の飼育を奨励し昭和二年の如きは飼育頭數十萬を超え非常な成績にて毛皮は米國へ輸出されたが昨年来箱育の欠陥が養兎の運動を不自由ならしめた結果死毛が多く賣れ行き悪く相場も下落し漸次飼育が減つたのに鑑み郡農會では飼育法を研究中いよ／＼今冬より大々的に飼育を宣傳し農村不況の折柄副業による利益を合理的にするべく郡内各町村にパンフレットを配布した

### 平三坂間自動車道

いよいよ竣工して  
既に數名から競願

平町から石城郡三坂村に至る縣道中同郡箕輪村大字大利の急坂約二百間の屈曲及び勾配改修工事は工費二千余圓 去る十月

### 水害豫防

### 新川の改修

石城郡平町外二ヶ村水害豫防組合は既報の通り十七日平町役場會議室に於いて開かれたが本年度の施行工事新川改修百十八間工費一萬九千九百圓の縣補助申請に對し縣は査定の結果工事施行七十二間工費五千七百二圓に減額し金二千四百

### 持越酒増加

### 昨年より一割

平町附近酒造工場四十軒は見込み難から一ヶ月も仕込みが遅く昨今ぼつ／＼取掛つたか新酒出廻りは年末追詰まつた頃になるべく新酒價は生産費の低減から一石六十圓の安値をみる様よりある尚持越酒は現在一萬石あり前年に比較して一割方多い

### 不況切抜に

### 藁細工

石城郡上遠野村では生産組合を設立した、組合は冬期中副業としてワラ細工を行ひ、または養豚、養鶏、蔬菜の栽培につとめ共同販賣をしてこの不況切抜け策とする事になつた

### 酒場開設

此の勉強振りを御覽下さい

- 銘酒 一合
- 燒酎 一合
- ブドウ酒 一合
- ウエスキー 一杯
- サイダー 一本
- 湯豆腐 一皿三錢
- 肉鍋 一皿十五錢

### 酒場

### 製産減

### 年約六千斤に

石城郡平町片倉製産減系會社では本年七月の盤系中央會の決議により明年三月は一ヶ月間休業する事に協定してあるのと同會社では例年の年末年始の休業を廢して舊曆の正月に休業し尚月に二回の公休日を通算して四日間休業をする事に

セメント 壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目電三

諸公債復興債券買入所  
相馬郡中村町(電話百二十番)  
米穀 渡邊金吾商店

### キングパスト

理想的耐水耐熱接合劑  
●水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑  
●一名コナニカワ  
●四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的です  
●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發し防腐の効果著し  
小野屋藥店  
電話一四四番

# 押迫らぬうち 出すが得策

## 年賀郵便差出方につき 平郵便局員語る

平郵便局を訪ひ年賀状取扱ひについて問へば係員は左の如く語る「一月一日最先便の引受日附印を押して而も

元日早々 配達せられる年賀郵便は例の通り二十日より二十九日まで特別取扱ひをされる事となつたが幾十萬通の郵便を僅かの日敷で而も時節柄例年よりも少數の局員で取扱ふので同じ取扱ふ

期間中では 押迫らぬ内早く出さねば折角の年賀郵便も一月二日のスタンプか押しで貰へなかつたり先方へ元旦に着かないやうな場合か起らぬとも限らぬから可成期間開始と同時に差出して貰ひたいものである

差出しの際の注意事項としては先づ左の通りである「云々

一、取扱ひを受ける郵便物は書状、葉書、名刺に限ること

二、年賀郵便と書いて十文字に括つて可成郵便局窓口に差出すこと

三、同一種類のもの五十通以上差出の場合は一々切手をはらないうて済む切手別納の制度を利用されたきこと

四、發受人住所は國名驛名を書かないで何縣何郡何

## 鐵道音樂會

### 愈々明晩開催 平陽女學校で

既報平鐵道音樂部主催本社後援の豆相震災義捐金募集音樂會は明廿日午後六時から平陽女學校に於て開催、

川崎本社長の挨拶に次いでハーモニカ合奏の、行進曲「君ケ代」を始めとし獨唱やヴァイオリン、ジャズ、マンドリン三曲合奏等夫々鐵道俱樂部員に依つて美妙なる樂園は繰り繰りられる筈であるか出演者左記の如くである

- 村田美津子 森正雄 東
- 東風 岩本竹童 坂本見
- 世二 竹田らん子 梶山
- 榮治 松原奇與子 長谷
- 川かほる 楠武 星晃
- 其他ハーモニカバンド

## 一般家庭の戸締

# 案外不注意

### 嚴重な警戒網も 全く徒勞に終る

## 平署某刑事談

平署管内は昨今年末に際して窃盜の横行頻々たるものがあり従つて平署は全員を擧げての警戒に努めてゐるが右に反して一般家庭の戸締は案外に不注意であり鍵錠を忘れ甚だしきに至つては引戸を閉め切らずに即ちすかしたまゝ寝に就く家などもある、某刑事の曰く「私が昨夜から今朝にかけて約四時間に亘る巡察中、不注意だと思つた家の出入口の戸を引いて見たら三軒のうち二軒までが苦もなく開いた、あれでは警署が如何に

如何に節約を申しつけられても現在のところでは膨脹こそすれ節約するものは何もないから豫算の節約はせぬ方針である」と

## マルモ竣工式

### 交々讚辭を述べ

平町四丁目に見物を添えたマルトモ、ビルジングの新館で昨日午後三時から竣工式が擧げられた、先づ手品の餘興等ありて定刻食堂は開かれ店主柴田徳二氏及び岳父吉田禮次郎氏の挨拶あつて左記の諸氏交々起ち

- 吉田利吉 中村月城 新
- 田目春松 永山勇吉 三
- 森虎雄 井上貞次郎 箱
- 崎壽一 藤田榮助 近藤
- 博記 大森勇 大嶺庫
- 柴田氏の人格力量を讃仰して祝辭を述べ最後に諸橋久太郎氏の音頭にてマルトモビルの萬歳を三唱、盛會裡に午後七時頃散會した

**明日のラジオ**  
二十日  
報豫氣天  
風晴れ

前七、〇〇 ラヂオ体操  
前九、〇〇 氣象通報  
前九、一〇 料理献立「正月の用意」一の重、菊花燕、針魚」朴澤松操學校發表  
前二、〇〇 家庭大學講座「植物と人生」第十三講 理學博士 川村清一  
後三、四〇 氣象通報  
後四、〇〇 ニュース  
後六、〇〇 子供の時間  
お話し「世界一の大ポケット」小川格  
後六、三〇 ことばの講座

「漢字の生ひ立」第六講 後藤朝太郎  
後七、〇〇 ニュース  
後七、二五 体育講座「初めてスキーへ」佐藤恒秋  
後八、〇〇 合唱と獨唱とピアノ獨奏 宮城女學校生徒(伴奏) ルースタツク 松尾不二校  
後八、〇〇 長唄「時雨西行」松永和孝 松永和十郎  
後九、〇〇 ラヂオコメディー「麻雀、オン、パレード」出演東京ラヂオオグロブ 効果隆松秋彦 放送指き太田友吉  
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項

## 鮮人は臭い

### 木賃宿の喧嘩

石城郡内郷村綴木賃宿相馬尾止宿、朝鮮人節賣沈民血(三)は十四日夜同宿じんの土工鎌田島之助(九)に朝鮮じんは臭いから泊るなといはれた事から喧嘩となり島之助に全治一週間の傷を負はされ平署に告訴

## 質屋から台所へ

### 皆氣の毒な人ばかり 質屋さんの見た歳末

平町には現在五軒のしち屋があるが年末を控えて何れも千客萬來、いづれは労働者の妻若らしのかヨレノノになった

## 節約の餘地がない

### 町村長の協議

石城郡町村長支會評議會は十八日午前十時より平町各種団体事務所樓上で關會明年度豫算につき協議したが各町村の意向としては縣が

## 貫ひ泣

### さすすることも

ありますよ、遂昨日も古ばけた子供の着物を持つてきたお内儀らしいのかあつたか、色々家庭の事情もきいてはとも着物をとる氣になれず二十錢惠んで返しまたか大層喜んで

## 親殺し無罪

### けふの判決

既報双葉郡新山町大字前田半谷寛(三)が實父に鐵瓶を投げつけ死亡せしめた事件は本日午前十一時平支部に於いて中島裁判長係り武田檢事立合、千葉辯護士列席開廷中島裁判長から證據不充分的故を以つて無罪の旨渡しあつた

## 農民解散

### リーダア歸京

不穩文書等を撒き平署から嚴重な取締りを受けた石城郡玉川村の農民組合は昨夜

# 水戸大火

## 目下延焼中

本日午後三時頃水戸新願寺大工町待合、業若葉亭モンパリー附近より發火し折柄の烈風に煽られ目下延焼中

## 平町人事

△北目町六六 理髮業新崎柳二氏  
(三三)石川縣助使村久保出スズ  
(二四) 〇死 〇亡  
△長橋町四四 奥山庄作(五〇)

